

学校名	福島県立新地高等学校	校長	江尻 雅彦
住 所	相馬郡新地町小川字貝塚西 1 3 番地の 1		
T E L	0244-62-2009	ホームページアドレス	http://www.shinchi-h.fks.ed.jp

今、復興の中で

ふくしま浜街道「桜プロジェクト」植樹ボランティア

取組みの概要

新地町は、JR常磐線がまだ全面復旧していない状況はあるものの、浜通り各市町村の中では、震災後の復旧・復興が急速に進んでいる地域の一つであるため、本校生は、日々変化する環境の中で学校生活を送っています。

そのような中、本校では、教育目標に「社会に貢献できる人材育成」を掲げ、地域との連携を踏まえた活動を、学校行事・部活動・ボランティア活動等において行い、新地町に関わる各種イベントにも積極的に参加しています。今回は、NPO法人ハッピーロードネットの主催で、ふくしま浜街道「桜プロジェクト」の植樹ボランティアに参加しました。



内 容

このプロジェクトは、浜通りを縦断する国道6号線及び常磐道・県市町村道沿いに、地域住民の方々や全国各地のボランティアの皆さんと2万本の桜を植樹し桜並木を繋いでいくというものです。国道6号線沿いの各市町村では、すでに植樹活動が始まっていますが、新地町では2月22日（日）に行われました。本校では、生徒会が自由参加を呼びかけ、自宅学習期間中の3年生を除いた1・2年生110名中40名の参加と、教員5名の参加がありました。

当日は、9時30分に新地町役場に集合し、午前10時に開会式がありました。開会式では、新地町長様から挨拶があり、その後、参加者全員による写真撮影がありました（下図）。桜の植樹場所へは、大型バスで移動し、3班に分かれ主催者の指導のもと国道6号線沿線に桜の苗木を植えました。まだ、寒風吹きすさぶ中で軍手をした指先もかじかむ状態でしたが、生徒たちは、しっかりと穴を掘り、苗木を植えることができました。

このプロジェクトでは、植樹ボランティアだけでなく、募金をして桜の苗木のオーナーになることもできます。本校では、生徒会から1万円を募金し、桜の苗木のオーナーにもなりました。十年後、二十年後、国道6号線一带に満開の桜が咲き、相双地区の未来の子供たちと将来の本校生たちが楽しそうにそれを眺めることができたとき、この活動が結実すると思っています。



参加者の感想

「桜が咲くのかと考えると、とても楽しかった。」（1年男子）、「苗木には元気に育ってほしい。」（2年女子）、「植えたところは急な斜面でしたが、立派に育ってほしいと思います。」（1年男子）、「また次も参加したいです。」（2年男子）